

12A・13Aガス

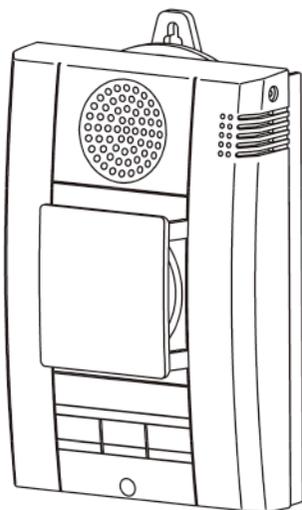
(家庭用)

住宅用火災(煙式)・ガス・CO 警報器

品名：FF-W 形式名：JGN1KWNA



# 取扱説明書 (保証書付)



本品をご採用いただきありがとうございます。

- ご使用になる前に、この取扱説明書を最後までお読みいただき、正しくお使いください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。
- 取扱説明書を紛失されたときは、お買い求めの販売店または東邦ガスにお問い合わせください。

この取扱説明書では本品を「警報器」、一酸化炭素を「CO」と表記しています。

発売元 **東邦ガス株式会社**

〒456-8511 名古屋市熱田区桜田町1-9-18

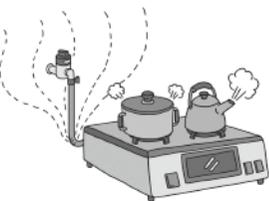
製造元 **富士電機株式会社**

〒141-0032 東京都品川区大崎一丁目11番2号(ゲートシティ大崎イーストタワー)

TK4K9304c

## ■ガス警報機能・CO警報機能

警報器周囲のガスやCOが規定濃度以上になると、それを検知して、注意報または警報を発します。

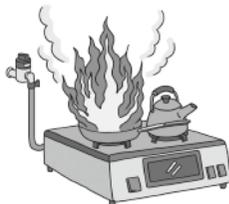


### 《お断り》

- ガス検知部にガスやCOが到達しないときは、警報機能が働きません。
- ガスもれや不完全燃焼によるCOの発生を未然に防止する装置ではありません。
- ガスもれやCOなどによる損害については、責任を負いかねますのでご了承ください。
- 取付場所近くでのガスもれやCOには警報を発しますが、他の部屋で発生したガスもれやCOには警報を発しないことがあります。

## ■火災警報機能

火災などにより、警報器周囲の煙が規定濃度以上になると、それを感知して、警報を発します。



### 《お断り》

- 換気扇などにより煙が吸引され、煙感知部の煙が一定濃度以上にならないときは、警報機能が働きません。
- 火災の発生を未然に防止する装置ではありません。
- 火災などによる損害については、責任を負いかねますのでご了承ください。
- 警報器を取り付けていない部屋は、火災の監視ができません。

## もくじ

### はじめに



- 安全上のご注意 . . . . . **3**
- 対象ガス . . . . . **6**
- 各部のなまえとはたらき . . . . . **7**
- 警報器のお知らせ機能について . . . . . **9**

### 警報器が 作動したら



- 『ウーウーピーピー 火災警報器が作動しました 確認してください』 または 『ウーウーピーピー 火事です 火事です』 と鳴ったときの処置 . . . . . **11**
- 『ウーウーピーピー 別の火災警報器が作動しました 確認してください』 と鳴ったときの処置 . . . . . **12**
- 赤(ガス警報)ランプが点滅、または 黄(CO警報)ランプが点滅したときの処置 . . . . . **13**
- 『ウーウーピッピッピッピッ ガスがもれていませんか』 と鳴ったときの処置 . . . . . **14**
- 『ウーウーピッポッピッポッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください』 と鳴ったときの処置 . . . . . **16**
- 『ウーウーピッピッピッピッ ガスがもれていませんか』と 『ウーウーピッポッピッポッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください』 が交互に鳴ったときの処置 . . . . . **18**
- 異常がないのに警報音が鳴ったり、ランプが点滅したときの処置 . . . . . **20**
- ランプ表示・警報音出力の事象一覧表 . . . . . **22**

### 取り扱い かた



- お手入れのしかた . . . . . **23**
- 噴霧式殺虫剤を使用するときは . . . . . **25**
- 日常点検 . . . . . **26**

### その他

- 故障かな?と思ったら . . . . . **27**
- 仕様 . . . . . **28**
- アフターサービスについて . . . . . **29**

### 施工される方へ

1. 施工される方へのお願いとご注意 . . . . . **30**
2. 取り付け前の確認 . . . . . **30**
3. 取り付け方法 . . . . . **33**
4. 取り付け後の点検 . . . . . **37**
5. お客さまへの説明について . . . . . **42**

## ■安全上のご注意

ご使用前に必ずお読みいただき、お客さまや他の人々への危害や損害を未然に防止するために、必ずお守りください。

注意事項は、誤った取り扱いによる危害や損害の程度を、以下の表示で区分しています。

### ⚠危険

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じる場合が想定されることを表しています。

### ⚠警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合を表しています。

### ⚠注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合を表しています。

#### 絵表示の内容

-  「必ず行う」事項を示しています。
-  「火気厳禁」事項を示しています。
-  「ぬれ手禁止」事項を示しています。
-  「水ぬれ禁止」事項を示しています。
-  「分解禁止」事項を示しています。
-  「一般的な禁止」事項を示しています。

### ⚠危険

ガス警報音が鳴っている間は、以下の内容を必ず守ってください。爆発の恐れがあります。



必ず行う

ガス警報音が鳴っている部屋にいるときは、すぐに換気をし、使用中のガス機器を止めてください。



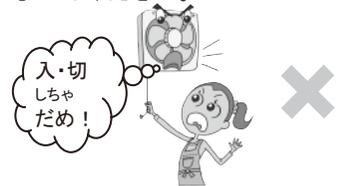
火気厳禁

マッチやライターなど、火気を使わないでください。



禁止

換気扇、電灯、蛍光灯など、電気製品のスイッチを入・切をしないでください。



禁止

電源プラグを抜かないでください。



禁止

部屋の外にいるときは、すぐに入室しないでください。



### ⚠危険

CO警報音もしくは火災警報音が鳴ったら、以下の内容を必ず守ってください。CO濃度が上昇し、短時間で生命に危険が生じる恐れがあります。また、火災により生命に危険が生じる恐れがあります。



必ず行う

CO警報音が鳴っている部屋にいるときは、すぐに換気をし、使用中のガス機器を止めてください。



必ず行う

火災警報音が鳴り、消火が不可能なときは、避難してください。



禁止

部屋の外にいるときは、すぐに入室しないでください。



### ⚠警告



必ず行う

常に電源が入っていること（緑（電源）ランプ点灯）を確認してください。

電源が入っていないと、火災、ガスもれ、COが発生しても、警報を発しません。



必ず行う

設置後、5年（有効期限）を過ぎた警報器は、新しい警報器とお取り替えください。

誤動作または正常に作動しない恐れがあります。また、5年を超えて長期間ご使用されますと、電源プラグ（予備コンセント含む）がほこりや水分の影響により発煙・発火する恐れがあります。

有効期限は、貼ってある有効期限ラベルに示しています。



必ず行う

噴霧式殺虫剤を使用するときは、以下の内容を必ず守ってください。

（P. 25 ~ P. 26参照）

- 警報器をポリ袋などで覆う。
- 噴霧が終わったら、換気した後、ポリ袋を取り除く。

誤作動の原因となります。



水ぬれ禁止

警報器や電源プラグ（予備コンセント含む）を水につけたり、水をかけたりしないでください。感電・ショート・発煙・発火の恐れがあります。



分解禁止

分解や改造はしないでください。故障の原因となります。

## ■安全上のご注意

### ⚠警告



禁止

衝撃を与えないでください。  
故障の原因となります。



禁止

警報器をお手入れするとき以外  
は、電源プラグを抜かないでく  
ださい。

火災、ガスもれ、COが発生し  
ても、警報を発しません。  
警報器以外の電気製品を同時  
に使用するときは、警報器の電  
源プラグに付属の予備コンセント  
を使用してください。



禁止

電源コードにステップルや釘な  
どを打たないでください。

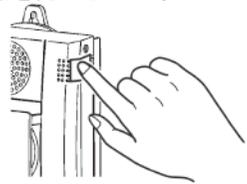
火災の原因となります。



禁止

ガス検知部は、絶対にふさがな  
いください。

ガスもれ、COが発生しても、  
警報を発しません。



禁止

煙感知式住宅用火災警報器に用  
いられる点検ガスでフロンガス  
を主成分とする点検ガスは使用  
しないでください。

フロンガスがガスセンサの故障  
の原因になる場合があります。

電源プラグや予備コンセントを使用するとき  
は、以下の内容を必ず守ってください。  
火災・感電・電源プラグ破損の恐れがありま  
す。



必ず行う

電源プラグにほこりが付着してい  
る場合は、よく拭いてください。  
火災の原因となります。



必ず行う

警報器の電源プラグ・予備コン  
セントに接続する他の電気製品の電  
源プラグは、コンセントの奥まで  
確実に差し込んでください。

感電・ショート・発煙・発火や、  
電源プラグ部分の過熱による焼損  
の恐れがあります。



必ず行う

予備コンセントには、消費電力が  
1490W以下の機器を接続してく  
ださい。

1490Wを超えると火災の恐れがあ  
ります。



必ず行う

予備コンセントに接続する他の電  
気製品は、必ず電源スイッチを  
切ってから電源プラグの抜き差し  
を行ってください。

感電の恐れがあります。



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差  
したり、予備コンセントを触つ  
たりしないでください。

感電する恐れがあります。



禁止

警報器の電源プラグに大きな力  
をかけないでください。

(例えば掃除機などの移動して使  
用する電気製品を接続することや、  
ひん繁に抜き差しすることはおや  
めください。)



### ⚠注意



必ず行う

警報器をお手入れするときは、  
必ず警報器の電源プラグを抜い  
てください。

感電やけがの原因となります。



必ず行う

警報器の取り外し・取り付けを  
行うときや、警報器をポリ袋で  
覆うときは、安定した踏み台を  
使い、十分注意してください。  
転落・転倒・落下によるけがの  
恐れがあります。



禁止

取付位置を移動させないでくだ  
さい。

警報の遅れの原因となります。  
取付位置を変える必要が生じた  
ときは、お買い求めの販売店ま  
たは東邦ガスにご相談ください。



禁止

警報器の前に物を置いたり、取  
り付けたりしないでください。  
警報の遅れの原因となります。



禁止

警報器の近くでラジオなどを  
使用しないでください。

ラジオなどにノイズ(雑音)が  
入ることがあります。

警報器から距離を離してお使  
いください。



禁止

この商品は検定合格品ですが、  
消防法で定められた自動火災報  
知設備には該当しませんので、  
それらの用途には使用できませ  
ん。

## ■対象ガス

### ⚠注意

●この警報器は火災(火災等による煙)、  
都市ガス(空気より軽い12A・13  
Aガス)および燃焼排ガス中のCOを  
検知します。

●都市ガス(空気より軽い12A・13  
Aガス)供給区域以外では、お使  
いにならないでください。

## ■各部のなまえとはたらき

### ●警報スピーカ

ガス、COを検知、または火災の煙を検知すると、音声合成音が鳴ります。

### ●赤(火災警報)ランプ

火災による煙を検知すると点灯します。  
※点灯時はP. 11を参照ください。

### ●緑(電源)ランプ

通常は点灯しています。故障しているときに高速点滅します。  
※点滅時はP. 10を参照ください。

### ●警報停止スイッチ

警報音を停止させたり、外部機器との連動確認をしたりするときに使用します。  
※詳細は、P. 20, P. 37~38を参照ください。

### ●有効期限ラベル

有効期限 20 年 月 

有効期限ラベル

### ●ガス検知部

ガスおよびCOを検知します。

### ●ガス検知部点検口

### ●製造番号シール

製品型式、製造番号、証票などを表示しています。

### ●煙感知部

煙を検知します。

### ●赤(ガス警報)ランプ

ガスを検知すると点滅または点灯します。  
※点灯時はP. 13~15を参照ください。

### ●黄(CO警報)ランプ

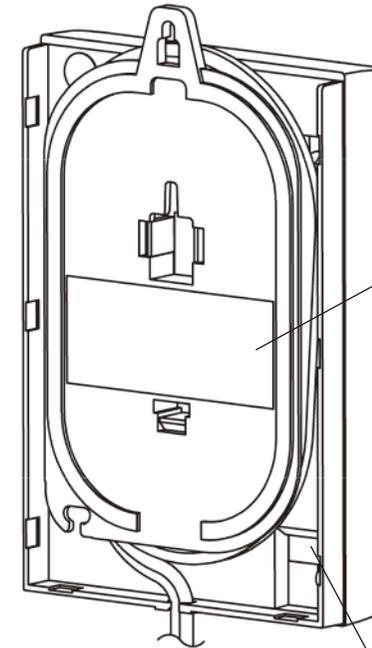
COを検知すると点滅または点灯します。  
※点灯時はP. 13, 16~17を参照ください。

### ●電源コード

### ●電源プラグ

### ●予備コンセント

最大1490W (AC100V, 14.9A) までの電気器具を1台のみ使用できます。



### ●定格表示

### ●外部出力コネクタ 封印シール

## ■ランプのつきかたについて

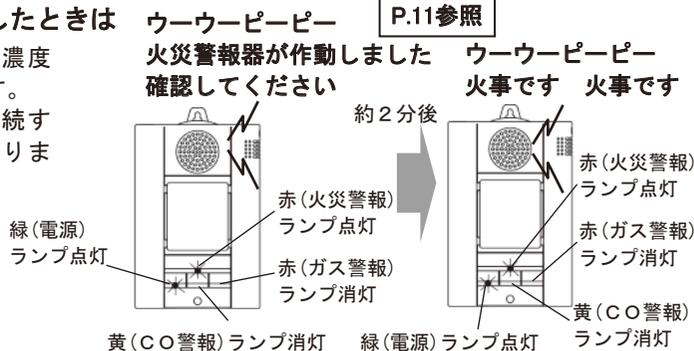
取扱説明書中のランプの点灯、点滅、速い点滅は次のように動作します。

点灯	連続して点灯	
点滅	点灯と消灯の繰り返し (0.5秒周期)	 点滅周期
高速点滅	点灯と消灯の繰り返し (0.25秒周期)	 点滅周期

## ■警報器のお知らせ機能について

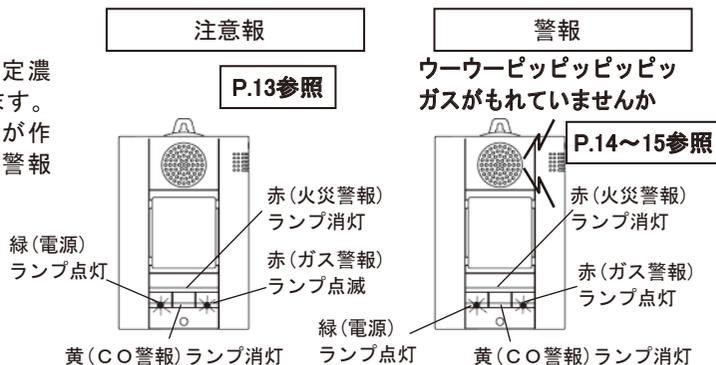
### 火災による煙が発生したときは

警報器周囲の煙が規定濃度以上になると作動します。検知開始し約2分間継続するとメッセージが変わります。



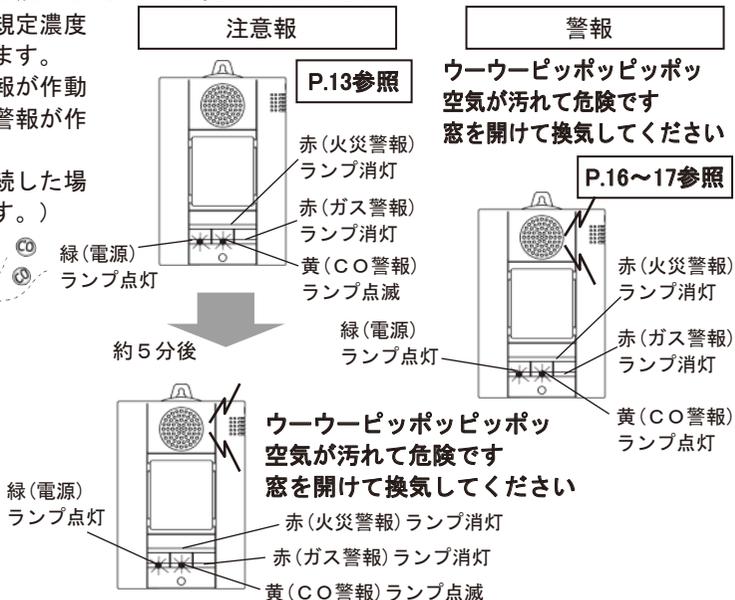
### ガスがもれたときは

警報器周囲のガスが規定濃度以上になると作動します。低濃度のときは注意報が作動し、高濃度になると警報が作動します。



### ガス機器の不完全燃焼によるCOが発生したときは

警報器周囲のCOが規定濃度以上になると作動します。低濃度のときは注意報が作動し、高濃度になると警報が作動します。(低濃度が5分間継続した場合も警報が作動します。)



### ガスもれとガス機器の不完全燃焼によるCOが

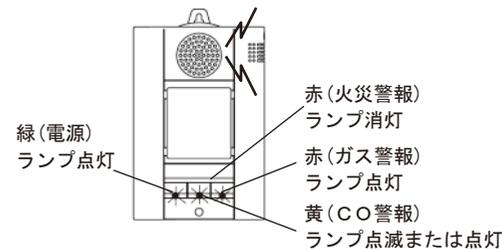
#### 同時に発生したときは

警報器周囲のガスとCOが規定濃度以上になると作動します。

**ウーウー ピッピッピッ**  
**ガスがもれていませんか**

**ウーウー ピッポッピッポッ**  
**空気が汚れて危険です**  
**窓を開けて換気してください**

交互に鳴る

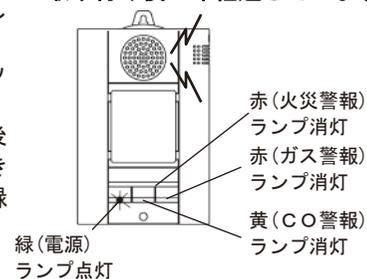


### 有効期限が過ぎたときは

有効期限を過ぎたときは以下のようにお知らせします。(具体的には有効期限+半年経過時点から)

- 警報停止スイッチを約5秒間押すと「ピッピッ 取り付け後5年経過しています」が鳴ります。
- 電源を再投入すると、60秒後に「取り付け後5年経過しています」が鳴ります。このとき「正常です」は鳴りませんが、正常動作は緑(電源)ランプ点灯により確認できます。

### ピッピッ 取り付け後5年経過しています



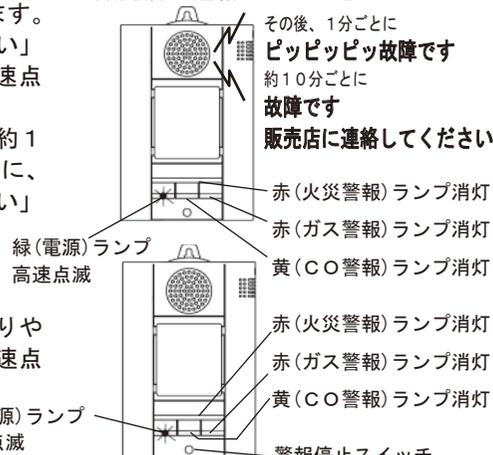
※ お買い求めの販売店または最寄りの東邦ガスまでご連絡ください。

### 故障しているときは

故障が発生すると、以下のように動作します。

- ・「故障です 販売店に連絡してください」が1回鳴り、緑(電源)ランプが高速点滅します。
- ・その後「ピッピッピッ 故障です」と約1分ごとに繰り返し鳴り、約10分ごとに、「故障です 販売店に連絡してください」が鳴ります。
- ・それ以降、同じ警報を繰り返します。

### 故障です 販売店に連絡してください



警報停止スイッチを押すと、警報音は鳴りやみます。ただし、緑(電源)ランプの高速点滅は止まりません。

※ お買い求めの販売店または最寄りの東邦ガスまでご連絡ください。

## ■『ウーウーピーピー 火災警報器が作動しました 確認してください』または『ウーウーピーピー 火事です火事です』と鳴ったときの処置【赤(火災警報)ランプ点灯】

『ウーウーピーピー 火災警報器が作動しました 確認してください』の警報音が約2分間継続すると、『ウーウーピーピー 火事です 火事です』と警報音が変わります。

### ⚠危険

消火が不可能なときは、避難する



必ず行う



### 《お断わり》

●火災以外の煙などで火災警報を発している場合でも、赤(ガス警報)ランプおよび黄(CO警報)ランプの点灯、点滅の有無を確認してください。

※火災警報を発している場合は、音声は火災警報を優先されるため、音声によるガス警報およびCO警報は発生しません。

●赤(ガス警報)ランプまたは黄(CO警報)ランプが点灯している場合は、P.14~19の処置を行ってください。

〈火災以外の煙などで火災警報を発しているとき〉

P.20の処置を行ってください。

1 火元の確認をする。



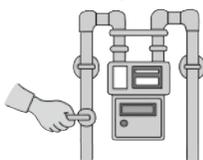
2 必要な手段をとる。  
119番への通報



初期消火



天ぷら油から炎が出ているときは、ガスマーター近くのマーターガス栓を閉めてください。



警報器周囲の煙が規定濃度以下になると、警報音が鳴りやみ、赤(火災警報)ランプが消灯します。

## ■『ウーウーピーピー 別の火災警報器が作動しました 確認してください』と鳴ったときの処置【赤(火災警報)ランプ点灯】

『ウーウーピーピー別の火災警報器が作動しました確認してください』と警報し、赤(火災警報ランプ)が点灯している場合、連動している別の警報器が火災を感じています。

### ⚠危険

消火が不可能なときは、避難する



必ず行う



1 別の部屋の火元の確認をする。



2 必要な手段をとる。  
119番への通報



初期消火



天ぷら油から炎が出ているときは、ガスマーター近くのマーターガス栓を閉めてください。



- ・ガス警報またはCO警報と同時に別の火災警報が発生したときは、それぞれ交互に警報します。
- ・警報停止スイッチを押すと約5分間赤(火災警報)ランプが消灯し、警報が停止します。ただし、警報器周囲の煙が規定濃度以上になると、警報停止を解除し即時に火災警報します。また、5分経過後も連動元警報器の周囲の煙が規定濃度以上であれば、再び警報します。
- ・連動元警報器の警報を停止すれば、警報は止まり、赤(火災警報)ランプが消灯し、緑(電源)ランプのみの点灯となります。ただし、警報器周囲の煙が規定濃度以上になると、警報停止を解除し即時に火災警報します。

## ■赤(ガス警報)ランプが点滅、または黄(CO警報)ランプが点滅したときの処置

赤(ガス警報)ランプが点滅し、警報音が出ていないときは、ガス注意報です。  
黄(CO警報)ランプが点滅し、警報音が出ていないときは、CO注意報(警報遅延中)です。

### 《お断わり》

外部機器と連動している場合、ガス注意報、CO注意報(警報遅延中)では外部機器は連動動作しません。

※黄(CO警報)ランプの点滅が約5分継続すると、

『ウーウーピッポッピッポッ 空気が汚れて危険です 窓をあけて換気してください』と鳴り始め、外部機器と連動動作します。

### 1 ドアや窓を開けて換気する。

しばらく換気を続けると、赤(ガス警報)ランプ、黄(CO警報)ランプは消灯します。



### 2 原因を確認する。

ガス濃度やCO濃度がうすい場合に点滅します。室内の空気の汚れにも反応することがあります。(P. 20 参照)

## ■『ウーウーピッピッピッピッ ガスがもれていませんか』と鳴ったときの処置【赤(ガス警報)ランプ点灯】

警報音が鳴っているときに部屋にいたとき

### ⚠危険

警報音が鳴っている間は、以下の内容を必ず守ってください。

爆発の恐れがあります。

マッチやライターなど、火気を使わない。



火気厳禁



換気扇、電灯、蛍光灯など、電気製品のスイッチを入・切しない。



禁止



電源プラグを抜かない。



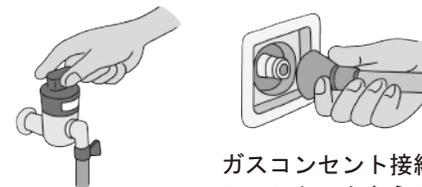
禁止



### 1 ドアや窓を開けて換気する。



### 2 ガス栓や器具栓を閉める。



ガスコンセント接続の場合、ガスコンセントからソケットをはずしてください。

### 3 ガスがなくなれば、警報音が鳴り止む。 【赤(ガス警報)ランプ消灯】



### 4 ガスもれの原因を点検する。

原因としては、煮こぼれ、ゴム管の外れ、ゴム管の亀裂、ガス機器の立ち消えなどが考えられます。



## 部屋の外から警報音に気づいたとき

## ⚠危険

警報音が鳴っている間は、**部屋の外から、すぐに入室しない。**

もれたガスの濃度が濃くなっている場合が考えられます。



禁止



入室はだめ!



- 1 部屋に入らない。  
室外からドアや窓を開けられるときは、ドアや窓を開けて換気する。



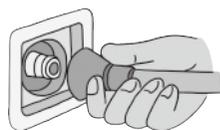
- 2 ガスメーター近くのメーターガス栓を閉める。



- 3 ガスがなくなれば、警報音が鳴り止む。

- 4 部屋に入り、赤(ガス警報)ランプの消灯を確認する。

- 5 ガス栓や器具栓を閉める。



ガスコンセント接続の場合、ガスコンセントからソケットをはずしてください。

- 6 ガスもれの原因を点検する。

原因としては、煮こぼれ、ゴム管の外れ、ゴム管の亀裂、ガス機器の立ち消えなどが考えられます。



## 処置をしても、警報音が鳴りやまないとき

## ＜お願い＞

たびたび警報音が鳴るときは、ガス機器の点検を受けてください。

最寄りの東邦ガスへ連絡する。

東邦ガス



## ■『ウーウーピッポッピッポッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください』と鳴ったときの処置【黄(CO警報)ランプ点滅または点灯】

## 警報音が鳴っているときに部屋にいたとき

## ⚠危険

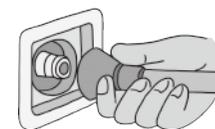
警報音が鳴ったら、**すぐに換気し、使用中のガス機器を止める。**

CO濃度が上昇し、短時間で生命に危険をおよぼす恐れがあります。

- 1 ドアや窓を開けて換気する。



- 2 ガス機器の使用を中止し、ガス栓や器具栓を閉める。



ガスコンセント接続の場合、ガスコンセントからソケットをはずしてください。

- 3 ガスがなくなれば、警報音が鳴り止む。  
【黄(CO警報)ランプ消灯】



## 『ウーウーピッピッピッピッ ガスがもれていませんか』 と『ウーウーピッポッピッポッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください』が交互に鳴ったときの処置 【赤(ガス警報)ランプ点灯、黄(CO警報)ランプ点滅または点灯】

### 警報音が鳴っているときに部屋にいたとき

#### ⚠危険

警報音が鳴っている間は、以下の内容を必ず守ってください。爆発やCO中毒の恐れがあります。

マッチやライターなど、火気を使わない。



火気厳禁



換気扇、電灯、蛍光灯など、電気製品のスイッチを入・切しない。



禁止

入・切し  
ちや  
だめ!



電源プラグを抜かない。



禁止

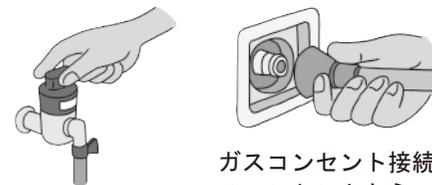
抜い  
ちや  
だめ!



#### 1 ドアや窓を開けて換気する。



#### 2 ガス機器の使用を中止し、ガス栓や器具栓を閉める。



ガスコンセント接続の場合、ガスコンセントからソケットをはずしてください。

#### 3 ガスやCOがなくなれば、警報音が鳴り止む。 【赤(ガス警報)ランプ・黄(CO警報)ランプ消灯】



#### 4 ガスもれやCO発生の原因を点検する。

原因としては、煮こぼれ、ゴム管の外れ、ゴム管の亀裂、ガス機器の立ち消えなどが考えられます。



### 部屋の外から警報音に気づいたとき

#### ⚠危険

警報音が鳴っている間は、**部屋の外から、すぐに入室しない。**CO濃度が濃くなっていることがあり、短時間で生命に危険をおよぼす恐れがあります。



禁止



入室は  
だめ!



#### 1 部屋に入らない。 室外からドアや窓を開けられるときは、ドアや窓を開けて換気する。



#### 2 ガスメーター近くのメーターガス栓を閉める。



#### 3 COがなくなれば、警報音が鳴り止む。

#### 4 部屋に入り、黄(CO警報)ランプの消灯を確認する。

#### 5 ガス栓や器具栓を閉める。



ガスコンセント接続の場合、ガスコンセントからソケットをはずしてください。

### 処置をしても、警報音が鳴りやまないとき

#### <お願い>

たびたび警報音が鳴るときは、ガス機器の点検を受けてください。ガス機器以外の燃焼機器(石油ファンヒーター、石油ストーブなど)が原因で鳴ることもありますので、これらの機器についても点検を受けてください。

最寄りの東邦ガスへ連絡する。

東邦ガス



## 部屋の外から警報音に気づいたとき

## ⚠危険

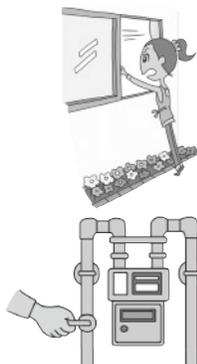
警報音が鳴っている間は、**部屋の外から、すぐに入室しない。**  
爆発やCO中毒の恐れがあります。



禁止



- 1 部屋に入らない。  
室外からドアや窓を開けられるときは、ドアや窓を開けて換気する。

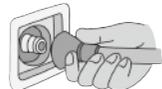


- 2 ガスメーター近くのメーターガス栓を閉める。

- 3 ガスやCOがなくなれば、警報音が鳴り止む。

- 4 部屋に入り、赤(ガス警報)ランプ・黄(CO警報)ランプの消灯を確認する。

- 5 ガス栓や器具栓を閉める。



ガスコンセント接続の場合、ガスコンセントからソケットをはずしてください。

- 6 ガスもれやCO発生の原因を点検する。

原因としては、煮こぼれ、ゴム管の外れ、ゴム管の亀裂、ガス機器の立ち消えなどが考えられます。



## 処置をしても、警報音が鳴りやまないとき

## 〈お願い〉

たびたび警報音が鳴るときは、ガス機器の点検を受けてください。  
ガス機器以外の燃焼機器(石油ファンヒーター、石油ストーブなど)が原因で鳴ることもありますので、これらの機器についても点検を受けてください。

最寄りの東邦ガスへ連絡する。

東邦ガス



## ■異常がないのに警報音が鳴ったり、ランプが点滅したときの処置

## ガスやCO以外の空気の汚れで、赤(ガス警報)ランプや黄(CO警報)ランプが点滅したり、警報音が鳴ったとき

## 〈警報音を止めたいとき〉

警報停止スイッチを押すと

- ガス警報の警報音は1回だけ5分間止めることができます。
- CO警報は、黄(CO警報)ランプが点滅し、CO警報音が鳴っている場合のみ、警報音を1回だけ5分間止めることができます。

※警報器周囲のガスとCOが規定濃度以下になっていない場合、停止時間経過後に再び警報音を発します。

※外部機器と接続していて、かつ警報器周囲のガスとCOが規定濃度以下になっていない場合、停止時間経過後に再び連動します。

- 1 ドアや窓を開け、しばらく換気を続ける。



- 2 警報器周囲のガスが規定濃度以下になると、ランプの点滅や警報音が止まる。

## 火災以外の煙で火災警報音が鳴ったとき

## 〈火災警報音を止めたいとき〉

警報停止スイッチを押してください。警報音が止まります。

- 火災警報音を5分間止めることができます。

※警報器周囲の煙が規定濃度以下になっていない場合、5分後に再び火災警報を発します。5分後に再警報してもスイッチを再度押すことで警報音を止めることができます。

※外部機器と連動している場合、警報停止中は、外部機器の連動は停止します。

- 1 ドアや窓を開け、しばらく換気を続ける。



- 2 警報器周囲の煙が規定濃度以下になると、ランプの点灯や警報音が止まる。

## 警報音が鳴ったり、ランプが点滅した原因について

以下の原因が考えられますので、調べてください。

- 長い間閉めきられていた部屋や、高气密住宅などの換気回数が少ない部屋に設置されている場合、ガスセンサの感度に影響を及ぼす室内の滞留成分〔シリコンや溶剤に含まれる揮発性成分、フロンガス（エアコンの冷媒ガスなど）〕の作用により警報が鳴りやすくなることがあります。また、まれに鳴り続けることがあります。
- 建材等から発生する揮発性成分の作用により警報が鳴りやすくなることがあります。また、まれに鳴り続けることがあります。



### ＜ガス警報・CO警報＞

- スプレー式の殺虫剤、ヘアスプレーなどが直接警報器にかかった場合。
- 濃厚なタバコの煙を警報器にふきかけた場合。
- 芳香剤、香油（アロマオイル）等の濃いガスがかかった場合。
- 線香の濃い煙がかかった場合。
- 溶剤、シンナー、ベンジンなどを大量に使用した場合。
- アルコール類やくん煙式・くん蒸式の殺虫剤が高濃度になった場合。
- フローリングのワックス、溶剤を含む接着剤を使用したとき。
- 長期間部屋が閉めきられていた場合。
- 焼き魚の煙等がかかった場合。
- みりんや酢などの調味成分を含んだ蒸気が大量にかかった場合。
- 可燃性のガスを使用した場合。
- 警報器の電源電圧が、通常の電圧範囲外の場合。  
通常の電圧範囲はAC100V±10Vです。

※以下の場合、ガスもれやCOで警報しており、誤報ではありません。

- 給湯器を使用中、換気が十分でないとき。
- ガスコンロの着火ミスがあったとき。
- 自動車の排気ガスが室内にこもったとき。
- 炭火や練炭（れんたん）を使用したとき。

### ＜火災警報＞

- 調理の煙や湯気が直接警報器にかかった場合。
- 砂、ほこり、虫などが、警報器の煙感知部に侵入した場合。
- 濃厚なタバコの煙を警報器にふきかけた場合。
- 線香の濃い煙がかかった場合。
- くん煙式・くん蒸式の殺虫剤が高濃度になった場合。
- 焼き魚の煙等がかかった場合。
- 警報器の電源電圧が、通常の電圧範囲外の場合。  
通常の電圧範囲はAC100V±10Vです。

### ＜お願い＞

ガスもれやCO発生ではなく、空気がよごれた場合などに、赤（ガス警報）ランプ・黄（CO警報）ランプが点滅または点灯したり警報器が鳴ったりする場合がありますが、すぐに鳴りやみますので警報器の電源プラグは抜かないでください。

## ■ランプ表示・警報音出力の事象一覧

ランプ	音声			表現している事象	対処方法 記載ページ	
	緑 (電源)	黄 (CO警報)	赤 (ガス警報)			赤 (火災警報)
●	○	○	○	なし	通常動作（監視中）	—
●	○	◎	○	なし	ガス注意報	P. 13
●	○	●	○	ガス警報音「ウーウーピッピッピッピッ ガスがもれていませんか」	ガス警報	P. 14, 15
●	◎	○	○	なし	CO注意報（遅延中 <sup>*1</sup> ）	P. 13
●	◎	○	○	CO警報音「ウーウーピッポッピッポッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください」	CO注意報（遅延後 <sup>*2</sup> ）	P. 16, 17
●	●	○	○	なし	CO警報	
●	◎	◎	○	なし	ガス注意報とCO注意報（遅延中 <sup>*1</sup> ）	P. 13
●	◎	◎	○	CO警報音「ウーウーピッポッピッポッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください」	CO注意報（遅延後 <sup>*2</sup> ）とガス注意報	P. 16, 17
●	●	◎	○	なし	CO警報とガス注意報	
●	◎	●	○	ガス警報音「ウーウーピッピッピッピッ ガスがもれていませんか」	ガス警報とCO注意報（遅延中 <sup>*1</sup> ）	P. 14, 15
●	◎	●	○	ガス警報音「ウーウーピッピッピッピッ ガスがもれていませんか」とCO警報音「ウーウーピッポッピッポッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください」を交互に発声	ガス警報とCO警報（遅延後 <sup>*2</sup> ）	P. 18, 19
●	●	●	○	なし	ガス警報とCO警報	
高速点滅	○	○	○	故障警報音 <sup>*3</sup> 「故障です 販売店に連絡してください」（10分ごと） 「ピッピッピッ故障です」（1分ごと）	故障警報（警報器が故障診断機能で故障と判断した状態）	販売店に連絡してください
●	○	○	○	有効期限切れ音声 「ピッピッ取り付け後5年経過しています」 ※警報停止スイッチを押した場合	有効期限切れ（警報器の有効期限が半年以上過ぎた状態）	販売店に連絡してください
●	○	○	●	火災警報音「ウーウーピーピー火災警報器が作動しました確認してください」 2分経過後 「ウーウーピーピー火事です火事です」	火災警報	P. 11
●	○	◎	●		火災警報とガス注意報	
●	○	●	●		火災警報とガス警報	
●	◎	○	●		火災警報とCO注意報（遅延中 <sup>*1</sup> ）	
●	◎	○	●		火災警報とCO注意報（遅延後 <sup>*2</sup> ）	
●	●	○	●		火災警報とCO警報	
●	◎	◎	●		火災警報・ガス注意報・CO注意報（遅延中 <sup>*1</sup> ）	
●	◎	◎	●		火災警報・CO注意報（遅延後 <sup>*2</sup> ）・ガス注意報	
●	●	◎	●		火災警報・CO警報・ガス注意報	
●	◎	●	●		火災警報・ガス警報・CO注意報（遅延中 <sup>*1</sup> ）	
●	◎	●	●	火災警報・ガス警報・CO警報（遅延後 <sup>*2</sup> ）		
●	●	●	●	火災警報・ガス警報・CO警報		

●：点灯 ◎：点滅 ○：消灯

※1：CO注意報成立から約5分以内は、CO警報音は発報しません（遅延中）。

※2：CO注意報成立が約5分間継続すると、CO警報音を発報します。

※3：故障したときは、上記以外の警報音を発する場合があります。

この場合、お求めの販売店または最寄の東邦ガスにご連絡ください。

## ■お手入れのしかた

1. 警報器を取り外してください。  
(P.23 参照)
2. 警報器および取付部付近の壁面の汚れをふき取ってください。
3. お手入れが終わりましたら警報器を取り付けてください。  
(P.24 参照)

警報器をお手入れされるときは、下記に注意して行ってください。

### ＜お願い＞



必ず行う

お手入れをされる場合は、布を水または石けん水に浸し、よく絞ってからよごれを拭き取ってください。



水または石けん水



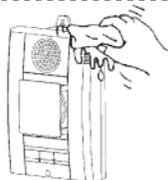
禁止

警報器のお手入れには、中性洗剤、塩素系漂白剤、ベンジン、シンナーおよびアルコールは使わないでください。  
中性洗剤等を使ったときは、警報器本体の表面に傷がついたり、しばらく赤ランプが点滅したり、警報音声が鳴りやまないことがあります。



禁止

お手入れのとき、警報器の内部に水が浸入しないように注意してください。



## ■警報器の取り外し・取り付け方法

### ＜取り外し方＞

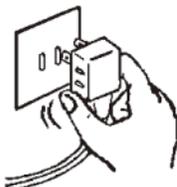
1. 電源プラグをコンセントから抜き取ってください。
2. 電源コードをコード振れ止めから取り外してください。
3. 警報器を外してください。  
木ネジで固定されている場合は、木ネジをゆるめてから外してください。

### ⚠注意



必ず行う

警報器の表面および取り付け部付近の壁面が汚れたりしてお手入れをされる場合は、電源プラグをコンセントから抜き取ってください。  
警報器の信号が外部機器（インターホン等の集中監視機器）と接続されている場合は、警報器の電源プラグを抜くと、外部機器で警報（故障表示）が鳴る場合があります。



### ＜取り付け方＞

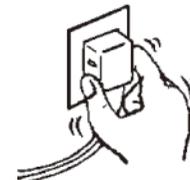
1. 警報器を取り付けてください。  
木ネジで固定する場合は、取り付け後木ネジを締め付けて固定してください。
2. 電源コードをコード振れ止めに取り付けてください。
3. 電源プラグをコンセントに差し込んでください。

### ⚠注意



必ず行う

電源プラグは、ほこりが付着していないか確認し、隙間のないように根元まで確実に差し込んでください。  
ほこりが付着したり接続が不完全な場合は、感電や火災の原因になります。



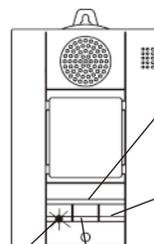
電源プラグは  
確実に

### ＜警報器の動作＞

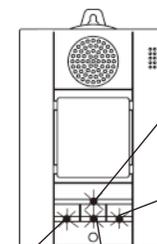
通電を開始すると

電源に接続してから約1分後

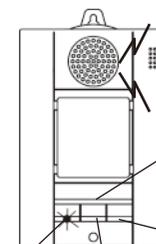
- ① 緑（電源）ランプが点滅し、警報器が監視を始める準備状態になります。  
(約1分間)
- ② ランプが全点灯した後、全消灯します。  
※ 過去約10日以内に警報が作動した場合は、最後に作動した警報の原因に伴ったランプが、約1秒間点灯します。これは、鳴動原因表示機能によるものです。  
(P.41参照)
- ③ 「正常です」と発報し、緑（電源）ランプが点灯し、監視状態に入ります。  
警報器が故障している場合、または警報器の有効期限切れの場合は、「正常です」とは鳴らずP.10記載の故障発生時または有効期限切れ時の動作となります。  
※ 故障または有効期限切れの場合は、販売店または最寄りの東邦ガスまでご連絡ください。



緑（電源）ランプ点滅 黄（CO警報）ランプ消灯



緑（電源）ランプ点灯 黄（CO警報）ランプ点灯



緑（電源）ランプ点灯 黄（CO警報）ランプ消灯

正常です

赤（火災警報）ランプ消灯  
赤（ガス警報）ランプ消灯

※ 緑ランプが点灯になってから、約3分間、約20秒に10回瞬時消灯を繰り返しますが、これはCOガス点検お知らせ機能の表示であり、警報器の異常ではありません

## ■噴霧式殺虫剤を使用するときは

噴霧式殺虫剤の噴射ガスに反応して警報器が鳴る場合があります。次の処置を行っていただくと、警報器の鳴り出し防止に効果があります。

### 警報器を壁面から取り外して安定した場所に置けるときの

＜用意していただくもの＞

- ・ポリ袋 ポリプロピレン (  または >PP< 表示)  
※ポリエチレンでも一定の効果があります。
- ・ヒモ
- ・粘着テープ

＜処置のしかた＞

- 1 壁から警報器を取り外し、コード止めから電源コードを外して伸ばしながら、安定する場所に警報器をおいてください。また、このとき、電源プラグは抜かないでください。
- 2 警報器にポリ袋を1枚かぶせ、ポリ袋内に噴射ガスが入るのを防ぐため、電源コード部分で密閉できるようにひもで縛ってください。ポリ袋の開口部分は、電源コードとの間に隙間ができないように、接着テープを巻いてください。
- 3 ポリ袋を傷めないよう、安定するところに置いてください。



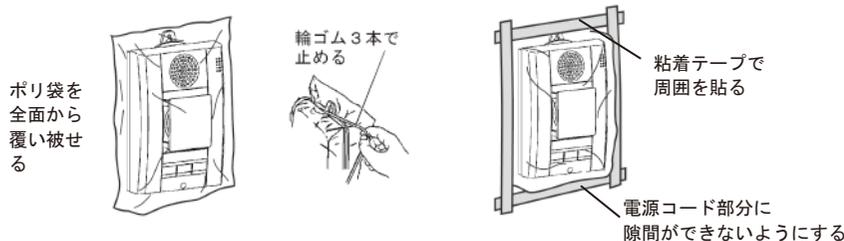
### 警報器を壁面から取り外して安定した場所に置けないとき

＜用意していただくもの＞

- ・ポリ袋 ポリプロピレン (  または >PP< 表示)  
※ポリエチレンでも一定の効果があります。
- ・輪ゴム 3本
- ・粘着テープ (養生テープやメンディングテープなど、接着しやすく、またはがすときに壁面を傷めないテープを選んでください。)

＜処置のしかた＞

- 1 ポリ袋を輪ゴムで警報器のコード巻き取り部分で止めてください。輪ゴムは1本では弱いので3本程度使用し、しっかりとめてください。
- 2 ポリ袋と壁の間の隙間から噴射ガスが入るのを防ぐため、ポリ袋の端を接着テープで壁面に貼り付けてください。ただし、壁面等の状況により貼り付けできない場所の場合は、輪ゴムで止めておくだけでも一定の効果はあります。
- ・ポリ袋と壁面の間に隙間ができないようにテープで貼ってください。特にポリ袋がしわになっている部分や、電源コードが通っている部分を注意してふさいでください。



## ⚠警告



必ず行う

噴霧が終わり換気をした後、忘れずにポリ袋を取り除いてください。



禁止

電源プラグは抜かないでください。警報器の電源を抜いてポリ袋で覆わずに、噴霧式殺虫剤を使用される部屋に噴霧中放置すると、噴霧が終わって電源を入れたときに、センサに吸着した噴霧ガスの影響で、警報器が鳴りだすことがあります。また、警報器の信号が外部機器 (インターホンなどの集中監視機器) と接続されていて、警報器の電源プラグを抜いた場合、外部機器で警報 (故障表示) が鳴ることがあります。

＜お願い＞

- 警報器への影響を少なくするため、部屋の広さに応じた容量の噴霧式殺虫剤をご使用ください。また、警報器の真下での噴霧は避けてください。
- ポリ袋で覆っても、次のような場合は警報器が鳴る場合があります。念のため、事前に住宅管理者やご近所の方に殺虫剤の使用をご連絡しておいてください。
  - (1) ポリ袋と壁面の間に隙間がある場合。また、ポリ袋に破れや穴がある場合。
  - (2) 部屋の広さに対して極端に大きな容量の噴霧式殺虫剤を使用された場合。
  - (3) 警報器をポリ袋で覆う前に石油系溶剤、アルコール類などを使用されていた場合。(ガス検知部に影響を与える成分が封じ込められるため)
  - (4) 経年変化によりガス検知部が敏感になっている場合。

## ■日常点検

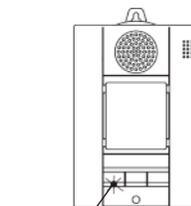
- 日常、緑 (電源) ランプが点灯していることを確認してください。本機は故障診断回路が働いており、電気的に正常稼働を確認した場合に緑 (電源) ランプが点灯する仕組みになっております。  
※ 緑 (電源) ランプが消灯もしくは高速点滅している場合は、警報器の故障が考えられますので、お買い求めの販売店または最寄の東邦ガスまで連絡してください。  
(P.27「故障かな?と思ったら」を参照ください。)

＜お願い＞

作動点検をご希望の場合には有償にて、リースをご利用の場合は通常範囲内の場合 (注) であれば無償にて点検いたします。お買い求めの販売店または最寄の東邦ガスにご連絡ください。  
(注) ひん繁な回数、多くの個数、他の設備点検にともなう場合など、有償となる場合もあります。

## ⚠注意

警報器の壁面からの取り外し、取り付け、あるいは、壁面の警報器へのポリ袋の取り付け、取り外しは、高いところでの作業となります。しっかりした踏み台などをお使いの上、転落、転倒、落下に十分注意して行ってください。  
壁掛け型警報器は、強く引っ張ると取り付けしている木ねじが抜けたり、木ねじから警報器が外れたり、警報器の引っ掛け穴が破損するなどして、警報器が落下する恐れがあります。



緑 (電源) ランプ点灯

## ■故障かな？と思ったら

状態	確認ポイント	処置
●緑(電源)ランプが消灯している。 ●警報器が正常であるにもかかわらず、外部機器が鳴る。	電源プラグが抜けていないか。	電源プラグをコンセントに差し込んでください。
	電源ブレーカが切れていないか。	ブレーカを入れてください。
	停電していないか。	停電でなければ、警報器の故障が考えられるため、販売店に連絡してください。
警報器が温かい。	—	通電によりセンサ部を加熱しているため、異常ではありません。
緑(電源)ランプが高速点滅している。	警報器の故障を知らせている。	販売店に連絡してください。
火災、ガスもれ、COの発生がないのに、赤ランプや黄ランプが点滅・点灯したり、警報音が鳴る。	原因を調べる。(P. 21 参照)	ドアや窓を開け、しばらく換気をしてください。ランプの点滅・点灯や警報音が止まります。鳴り止まない場合は、販売店に連絡してください。
	ガス機器の異常の可能性	ガス機器の点検を受けてください。
	ガス機器以外の燃焼機器の異常の可能性	それらの機器の点検を受けてください。
電源を入れたときに、赤ランプや黄ランプが1秒間点灯する。	10日以内に警報を発していないか。	鳴動原因表示機能によるもので、故障ではありません。(P. 41 参照)
電源を入れたときや、警報停止スイッチを5秒以上押したときに「ピピピ取り付け後5年経過しています」と鳴る。	警報器の有効期限ラベルに記載の有効期限が切れている。	有効期限が切れていれば、販売店に連絡してください。(P. 10 参照)

## ■仕様

項目	仕様				
火災警報機能	種別	光電式住宅用防災警報器			
	型式番号	住警第26～115号			
	検知原理	煙感知方式(光電式)			
	感知性能	2種			
火災連動入出力※	相互鳴動用火災連動入出力 有極性 自動復帰式 監視時入力(DC30V以下) 警報時出力(DC1.2V以下、100mA)				
ガス警報機能・CO警報機能	検知対象ガス	都市ガス (空気より軽い12A・13Aガス用)	燃焼排ガス中のCO		
	警報ガス濃度	ガス注意報	爆発下限界濃度* の約1/100	CO注意報	CO濃度 50～300ppm
		ガス警報	爆発下限界濃度 の1/4以下	CO警報	CO濃度 550ppm以下
	検知方式	半導体式			
	警報方式	ガス注意報	赤ランプ点滅 (自動復帰式)	CO注意報	黄ランプ点滅 約5分後 危険と判断し、 音声合成音 (自動復帰式)
		ガス警報	赤ランプ点灯 音声合成音 (自動復帰式)	CO警報	黄ランプ点灯 音声合成音 (自動復帰式)
	応答時間	60秒以内		CO注意報	10分以内
				CO警報	5分以内
	外部出力信号※	監視時	DC6V、電源OFF時・故障診断時 0V		
		警報時	DC12V	警報時 DC18V	
共通仕様	警報音量	70dB/m			
	電源	AC100V 50/60Hz			
	消費電力	監視時 約0.5W 警報時 約1.2W			
	使用温度範囲	0℃～+40℃(結露しないこと)			
	寸法・質量	幅85×高さ125×奥行き41mm(突起部を除く)、約280g			
	電源コード	長さ 2.5m(約2.2mはケース背面に巻き取り可能) 予備コンセント付プラグ (予備コンセントに接続できる電気製品は1490W以下)			
	付属品	コード振れ止め 3ヶ、木ネジ(φ3.1×16mm) 2ヶ、 木ネジ(φ3.1×10mm) 3ヶ、取扱説明書(保証書付) 1部 接続用リード線 1個			

\*爆発は空気とガスの混合割合が一定範囲で起こる可能性があります。その範囲を爆発限界濃度といって、最高濃度を爆発上限界濃度、最低濃度を爆発下限界濃度といいます。

※マイコンメーターと接続して使用する場合は、別売りの警報器アダプターが必要になります。

## ■アフターサービスについて

### お願い

- この警報器は、ご使用開始後5年間の無償保証付です。  
この取扱説明書に書かれている内容を守っていただいた上で警報器が正しく動作しないことが判明した場合には、無償でお取り替えいたします。  
ただし、保証書裏面記載の保証の適用除外に該当する場合はこの限りではありません。
- この警報器の有効期限はお取り付けの5年後です。  
有効期限とは警報器の性能を保証できる期間であり、5年を経過したものは、規定の警報ガス濃度で警報しないなど誤作動の恐れがあるので、新しい警報器とお取り替えください。
- 保証書に取り付け年月日および販売店名の記入のないものは無効になることがありますので、お取り付け時にご確認ください。
- 保証書は大切に保管してください。
- アフターサービスについて、ご不明の点がありましたら、販売店または最寄りの東邦ガス営業所までご連絡ください。
- 警報器の有効期限が過ぎたときは、販売店または最寄りの東邦ガス営業所までご連絡ください。
- 作動点検をご希望の場合は、有償にて点検いたします。
- 引越しやお部屋の模様替えなどで警報器を移動される場合は、販売店または最寄りの東邦ガス営業所までご連絡ください。

## 1. 施工される方へのお願いとご注意

### ⚠注意

- 警報器には、落下等の強い衝撃を与えないように、取り扱いには注意してください。

### ⚠警告

- お客さまに、この警報器を安全に正しくご使用いただくために、取扱説明書をよくお読みになり、指定された工事を行ってください。 **！必ず行う**
- お客さまへ引き渡す前に、必ずお客さま立会いのもとで本書記載の各種点検を実施してください。(P.37~P.41参照) **！必ず行う**  
万一、作動不良があった場合は交換してください。  
外部機器と接続する場合は、外部機器の取扱説明書、設置工事説明書に基づいて作動点検をしてください。
- 取り付け、点検が終わってから、「警報器の説明」「警報時にとるべき処置」についてお客さまに説明してください。(P.42参照) **！必ず行う**

### お願い

- 有効期限を経過して交換した警報器の廃棄処理について
  - ・一般廃棄物として処理しないで、産業廃棄物として処理してください。
  - ・本品には一般廃棄物として焼却処理した場合有害ガスが発生する恐れのある材料が含まれています。決められた処理ルートがある場合は、それに従ってください。

## 2. 取り付け前の確認

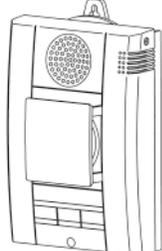
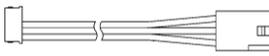
### 2-1. 警報器の確認

### ⚠注意

- 取り付ける警報器が、空気より軽い12A・13Aガス用(煙式火災感知・CO警報機能付)であり、本体に異常のないことを確認してください。 **！必ず行う**

### 2-2. 梱包部品の確認

梱包部品の種類と個数を確認してください。

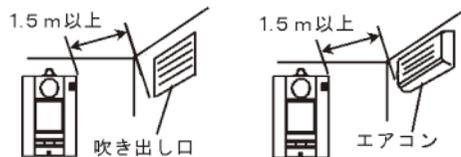
- 本体：1個 
- コード振れ止め：3個 
- 接続用リード線 
- 木ネジ  
10mm×3本  
16mm×2本 
- 取扱説明書(保証書付)：1冊

## 2-3. 取り付け位置の確認

- 警報器を設置する前に、警報器の種類、型式等が指定を受けたものであることを確認するとともに、設置場所の選定についてはお客さまとよく相談して決めてください。
- 取り付け位置を決めるときは、次のことをよく確認してください。

### ⚠ 注意

- ガス、COを検知しようとするガス機器等を設置している場所と同一の室内に設置してください。
- もれたガスやCOが滞留しやすい位置で、緑（電源）ランプが確認しやすく、容易に点検できる位置にお取り付けください。
- ガス、COを検知しようとするガス機器（一定位置に固定しないで使用するガス機器の場合は、ガス栓）から、水平距離で8m以内、警報器の底面から天井面までの距離が22~30cm以内になるように取り付けてください。
- アルコール等で警報することがあるので、レンジフード内やレンジフード本体には取り付けしないでください。
- 換気口等の空気の吹き出し口から1.5m以内には取り付けしないでください。



❗ 必ず行う

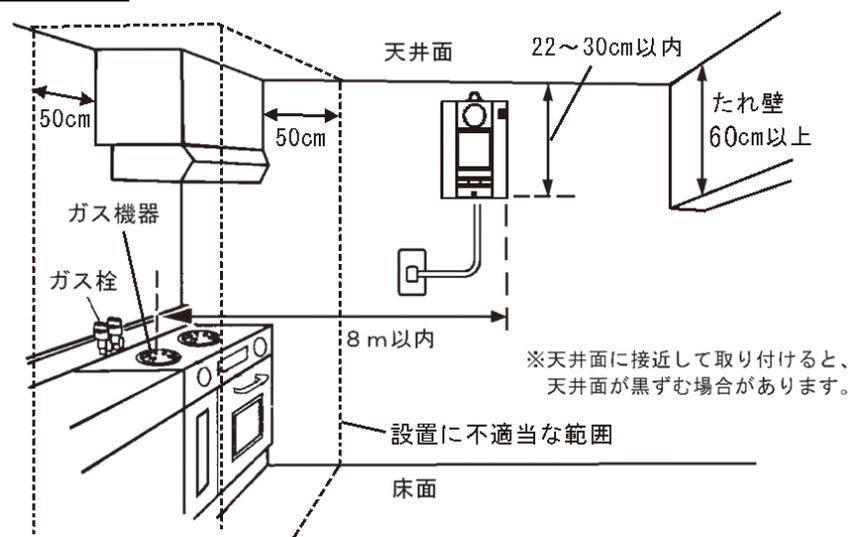
❗ 必ず行う

❗ 必ず行う

🚫 禁止

🚫 禁止

### 取付例



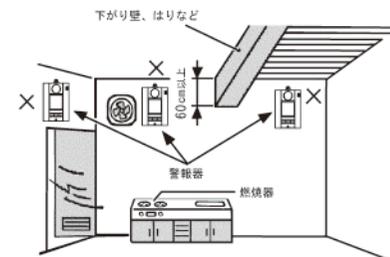
※天井面に接近して取り付けると、天井面が黒ずむ場合があります。

※取り付けおよび取り付け位置の移動は、販売店または最寄りの東邦ガスにおまかせください。

### ⚠ 注意

警報器を以下の場所には絶対に取り付けしないでください。  
次のような取り付け方は、警報遅れや誤報、故障などの原因になります。

- 換気扇、吸気口、ドア付近など風通しのよいところ、すき間風の入るところ
- 60cm以上の下がり壁で区切られているところ
- エアコン等の吹き出し口の近く



🚫 禁止

警報が遅れたり、検知できないことがあります。

- 燃焼器具などの排気、湯気、油煙など、または調理用アルコールが直接かかる場所

🚫 禁止



センサ寿命の低下や誤報の原因になります。

- カーテン等で仕切られている場所

🚫 禁止



警報が遅れます。

- 浴室内や水のかかる場所や水滴のつくところ

🚫 禁止

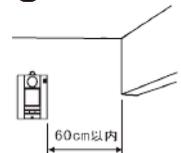


感電や電氣的故障の原因になります。

- たれ壁やはりの近く

🚫 禁止

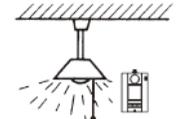
60cm以上離してください。



- 照明器具の近く

🚫 禁止

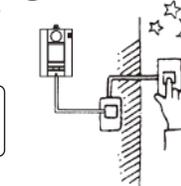
60cm以上離してください。



- 使用時しか電源を入れないところ（ビルなどの給湯室で夜間電源を切るところ）

🚫 禁止

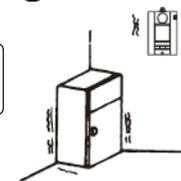
警報器としての機能を果たしません。



- 振動、衝撃の激しいところ

🚫 禁止

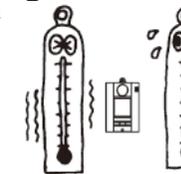
センサ故障の原因になります。



- 温度が0℃~+40℃の範囲をこえるところ

🚫 禁止

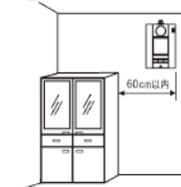
警報器としての機能を果たしません。誤作動の原因になります。



- 食器棚等の近く

🚫 禁止

60cm以上離してください。



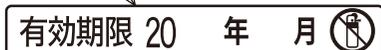
- 屋外
- 🚫 禁止 屋外用ではありません。

### 3. 取り付け方法

#### 3-1. 有効期限の記入

この警報器の有効期限は取り付け後5年間です。必ず、警報器本体に貼ってある「有効期限ラベル」に、有効期限の年月を記入してください。

有効期限ラベル



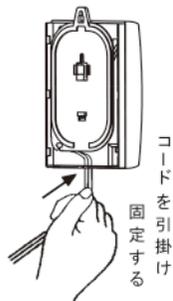
#### 3-2. 取り付け位置の確認

取り付け位置の壁面の材質、強度を確認し、土壁、強度の弱い合板などには取り付けないでください。

取り付け位置の壁面が石こうボードの場合は、取付板はピンを使用し取り付けてください。

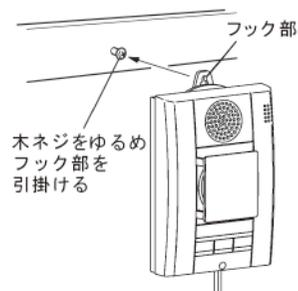
#### 3-3. 警報器の取り付け

- 取付金具を、木ネジまたはピンで壁面に取り付けてください。壁がコンクリートの場合は、カールプラグを打ち込んで木ネジを使用してください。
- 信号線をいんぺい配線する場合には、1個用スイッチボックス(JIS C 8340)を使用してください。警報器の取付金具は、スイッチボックスに直接取り付けすることができます。
- 電源コードをコンセントまでの長さに合わせて取り出し、本体裏側のコード掛けで固定してください。



#### ■本体のフックで取り付ける場合

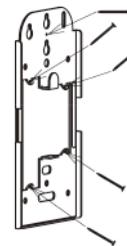
- 木ネジ(長さ16mm)を途中までねじ込み、仮止めしてください。(既設のネジに取り付ける場合は、ネジをゆるめてください。)
- 仮止めしたネジに警報器のフック部を引掛けてください。
- 木ネジを締め付け、警報器を固定してください。



#### ■取付金具に取り付ける場合

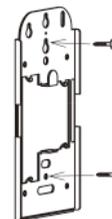
##### <石こうボードへ取り付けの場合>

ピン(5本)を図のように打ち込み、取付金具を固定してください。



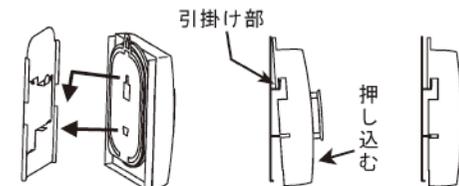
##### <石こうボード以外の壁に取り付ける場合>

木ネジ(長さ10mm)で、図のように取付金具を固定してください。



##### <警報器本体の取り付け>

取付金具の引掛け部に、本体裏面にある引掛け穴を使って掛け下げし、取付金具の下部にある固定凸部に警報器本体を押し付けて固定します。



#### ⚠ 注意

- 警報器の取り付け時には、警報器を落とさないように注意してください。センサの断線等で正常に作動しない恐れがあります。
- ピンを指に刺さないよう、取り扱いにご注意ください。
- 取り付け強度を保持するため、ピンを根元まで差し込んでください。万一ピンがゆるんだ場合は、取り付け位置をずらしてピンを付け直してください。

#### 3-4. コード振れ止めの取り付け

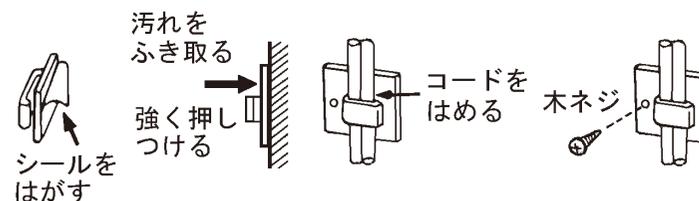
#### ⚠ 注意

- 電源コードは付属のコード振れ止めで支持してください。
- 電気設備技術基準および内線規定により、電源コードはステップルや釘などで固定できません。
- 電源コードの上に重いものを置かないでください。
- ピンを指に刺さないよう、取り扱いにご注意ください。



- ① 壁面の取り付け部の汚れをふき取ってください。
- ② コード振れ止めの剥離シールをはがし、壁面に貼り付け強く押し付けてください。
- ③ 下図の通り、コードを振れ止めにはめて支持してください。

■ 接着だけで強度が不足する場合、付属の木ネジ(10mm)を使用してください。



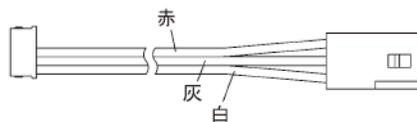
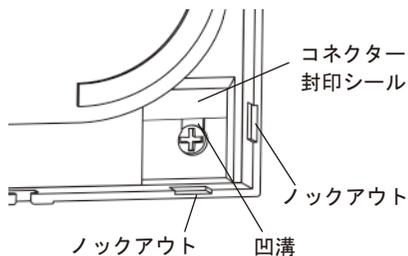
### 3-5. 外部機器と接続する場合

#### ⚠ 注意

- 外部機器と接続する場合は、外部機器の取扱説明書ならびに設置工事説明書に基づいて作動点検を実施してください。
- ガス・COの外部出力（コネクター）は有電圧出力ですので、外部機器と接続する場合は極性に注意してください。

#### ■ 外部機器との接続のしかた

- 外部機器と接続する場合  
コネクター封印シールを外してください。凹溝部分にマイナスドライバーなどを差し込んではずすと外しやすいです。
- 付属の接続用リード線を本体裏面のコネクターに差し込んでください
- 必要に応じノックアウト部をニッパーなどを使用して切り取り、接続用リード線を引き出してください。



#### 接続用リード線

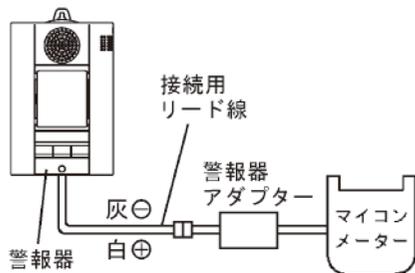
- ・ガスもれ、CO警報出力線：白・灰
- ・火災警報出力線：赤・灰

※ 集中監視盤または住宅情報盤と接続する場合、CO警報時でも集中監視盤または住宅情報盤はガス警報を発する場合があります。

※ コネクターを傷つけないよう注意してください。

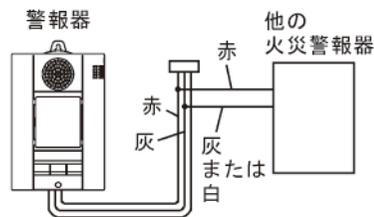
#### ■ マイコンメーターとの連動接続

警報器アダプターにコネクター接続してください。



#### ■ 他の火災警報器との連動接続

他の警報器からの信号線とギボシ端子などで直接接続してください。



### ■ 外部機器との連動対応表

上段 ○：連動可能

×：連動不可

△：警報器アダプターが必要

下段 警報音が鳴りはじめてから各機器が作動するまでの遅延時間の例です。

この遅延時間は、機器によって異なります。

外部装置	警報の種類 外部出力信号 出力線	警報時の動作	火災	ガス	CO	備考
			連動出力 赤・灰線	DC12V 白・灰線	DC18V 白・灰線	
戸外ブザー		警報音が鳴ります	×	○	○	ガス・CO警報用
マイコンメーター		ガスを止めます	△	△	△	約4.5秒
住宅情報盤		警報表示および警報音が鳴ります	※1	○	○	約4.5秒
集中監視盤		警報表示および警報音が鳴ります	※1 ※2	○	○	※2
火災連動入力付警報器		警報表示および警報音が鳴ります	○ 即時	×	×	

※1 接続する場合は、販売店または最寄りの東邦ガスにご相談ください。

※2 機器の設定により、遅延時間が異なります。

#### ⚠ 注意

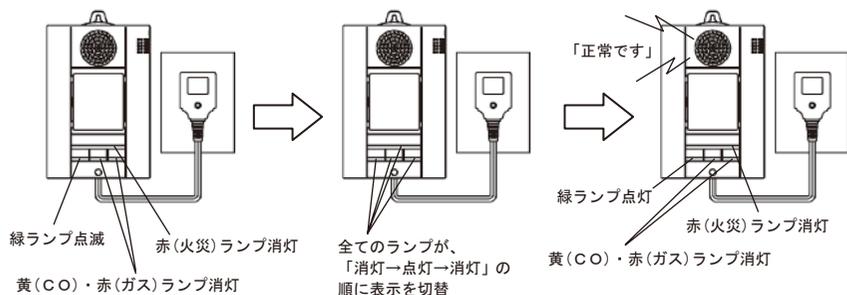
- 外部出力コネクターには極性がありますので、外部機器と接続する場合はご注意ください。
- 住宅情報盤および集中監視盤への接続は、各機器の取扱説明書と保証書に基づいて行ってください。
- 外部機器では、ガスとCOの警報判別はできません。ただし、一部の住宅情報盤で判別できるものがあります。
- 遅延時間は一般的な値です。詳しくは各機器の取扱説明書でご確認ください。
- 外部連動については、販売店または最寄りの東邦ガスにご相談ください。

## 4. 取り付け後の点検（お客さま立ち会いのもとで実施）

この警報器は、通電開始後自動でセンサを含めた内部回路が正常であることを確認する自動初期点検機能を有しております。「自動初期点検機能の確認」を行ってください。続けて「警報ランプと警報音、外部機器との連動の確認」も行ってください。状況により「警報ランプと警報音、外部機器との連動の確認」ができない場合は、お客さまに取扱説明書で鳴動内容を説明してください。通常「作動点検」は不要ですが、お客さまから作動確認の要望があった場合は、「作動点検」を行ってください。

### 4-1. 自動初期点検機能の確認

電源プラグをコンセントに差し込みます。緑（電源）ランプが点滅し、約1分後に全てのランプが「消灯→点灯→消灯」の順に表示が切り替わります。このとき、警報器が正常であれば「正常です」と音声を発します。万一異常があれば、「故障です、販売店に連絡してください。」と音声を発しますので、この場合は警報器の交換をお願いします。自動初期点検が終わると、緑ランプは点灯に変わります。



※ 緑ランプが点滅している間は、作動点検は行わないでください。

### 4-2. 警報ランプと警報音、外部機器との連動の確認

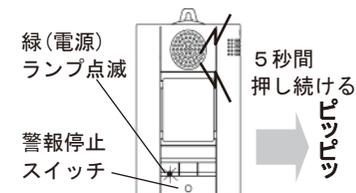
#### 警告

- 点検時、決してライターなどを使用しないでください。警報器の破損や火災の原因になります。
- 点検をするときは、必ず安定した台に乗って行ってください。転倒をしてけがをする恐れがあります。

#### 注意

- 外部機器（マイコンメーター、集中監視盤、インターホン等）が作動しますので、連動確認機能を操作される場合はご注意ください。
- マイコンメーターが作動した場合は、所定の復帰作業を行ってください。その他の外部機器が作動した場合は、外部機器の復帰操作を確認していただき、復帰操作を行ってください。

- ① 警報停止スイッチを約5秒間押しすと、「ピッピッ」と開始音が鳴ります。（緑（電源）ランプが点滅開始）
- ② 警報停止スイッチから手を離すと以下のように動作することを確認してください。



動作順	音声内容	ランプ				火災出力	有電圧出力 (12V⇔18V)
		緑 (電源) 点滅	黄 (CO警報)	赤 (ガス警報)	赤 (火災警報) 点灯		
1	「ウーウーピーピー 火事です火事です」	点滅			点灯	ON	ON
2	「ウーウーピーピー 火災警報器が作動しました確認してください」	点滅			点灯	ON	ON
3	「ウーウーピッピッピッピッ ガスがもれていませんか」	点滅		点灯		ON	ON
4	「ウーウーピッポッピッポッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください」	点滅	点灯			ON	ON
5	無音	点滅	点灯	点灯	点灯	ON	ON

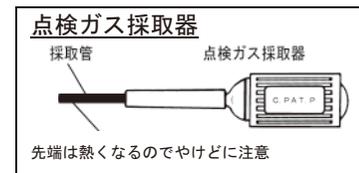
- ③ 約1分後に「ピー」と終了音が鳴り、監視状態（緑（電源）ランプ点灯）に戻ります。  
※ 1分以内に連動確認を終了したい場合は、警報停止スイッチを押すと、「ピー」と鳴り、終了します。



### 4-3. 作動点検の方法

#### ＜準備するもの＞

- 点検ガス採取器（別売品）
- テーブルコンロなど炎からガスを採取できるもの



#### 注意

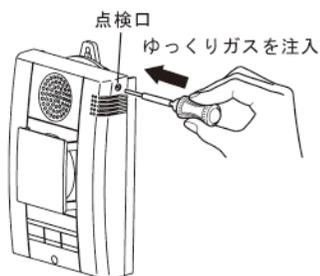
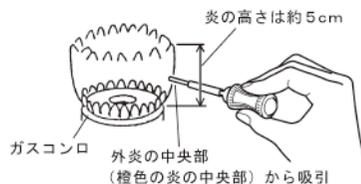
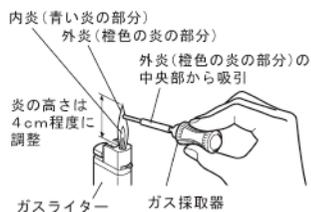
- アルコールを主成分とした点検ガスおよびライター式の点検ガス（生ガス）は、使用しないでください。センサの異常・故障の原因になったり、警報状態からの復帰に大変時間がかかったりすることがあります。

#### ＜お願い＞

この警報器は作動点検をスムーズに行うため、通電初期の鳴動防止時間（1分間）経過後の3分間（電源プラグをコンセントに差し込んでから4分後まで）に限り、採取ガスに対して反応しやすい状態が保持されます。必ずその間に作動点検を行ってください。上記時間を過ぎると、点検用の採取ガスに対して反応しやすい状態は解除されます。その場合は電源プラグを一度抜き、再度コンセントに差し込み直してから行ってください。また、上記時間内であっても一度作動点検を行うと採取ガスに対して反応しやすい状態は解除されますので、ご注意ください。

## ■ ガス・CO警報機能の作動点検方法

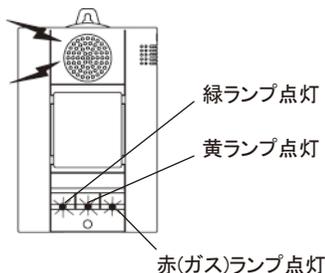
- ① 周囲に引火物の無いことを確認してからガスライターまたはガスコンロを点火し、炎の高さを以下の通り調整してください。
  - ・ ガスライターの場合：約4cm
  - ・ コンロの場合：約5cm
 炎が小さいと、ガスを採取しにくくなります。
- ② 点検ガス採取器の容器部分を十分圧縮し、採取管の先端を外炎の中央部に持って行ってください。
- ③ 容器の圧縮をゆっくり（3秒程度）ゆるめ、炎の中からガス成分を吸引してください。長時間加熱すると、ガス採取器が破損する場合がありますのでご注意ください。
- ④ 採取が終わったら、速やかに採取管を炎から離し、ライターまたはコンロの火を消してください。
- ⑤ 採取管の先端部の温度が下がるまで（約30秒程度）待ちます。採取管の先端部分を警報器の点検口に軽く押し当てて、容器を圧縮し採取ガスをゆっくり（3秒程度）注入します。
- ⑥ 警報器は、通電開始から1分後の自動初期点検機能を行い、その後の3分間は点検しやすい状態になっています。この間に採取ガスを点検口に注入してください。
- ⑦ 赤ランプが点灯し、ガス警報音「ウーウーピッピッピッピッ」ガスがもれていませんか」が鳴り、黄ランプが点灯し、CO警報音「ウーウーピッポッピッポッ」空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください」が交互に鳴ります。ガス注入のタイミングにより、ガス警報とCO警報の順序が逆になる場合があります。
- ⑧ ガスがなくなると、黄と赤ランプが消灯します。



ウーウーピッピッピッピッ  
ガスがもれていませんか

↕ 交互に鳴る

ウーウーピッポッピッポ  
空気が汚れて危険です  
窓を開けて換気してください



## 警告

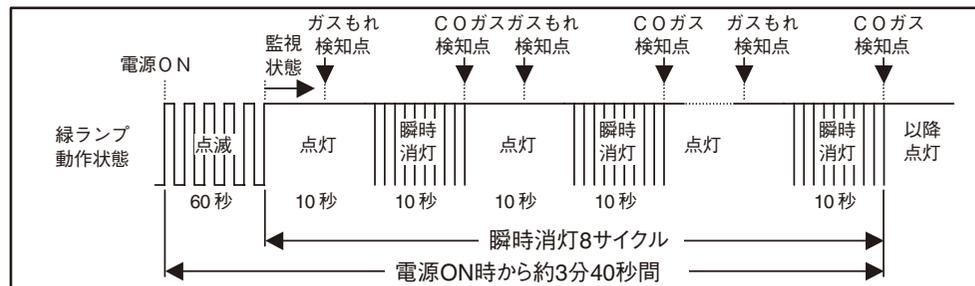
- 採取したガスは作動点検以外には使用しないでください。 ㊄ 禁止

## 注意

- 炎から取り出した直後のガス採取管の先端は非常に熱くなっていますので、絶対に触らないでください。 ㊄ 禁止
  - 外部機器（マイコンメーター、集中監視盤、インターホン等）が作動しますので、連動点検を行う場合はご注意ください。
  - マイコンメーターが作動した場合は、所定の復帰操作を行ってください。その他の外部機器が作動した場合は、外部機器の復帰操作を確認していただき、復帰操作を行ってください。
- ※ ガスセンサは、約20秒周期でガス検知とCOの検知を繰り返しています。各ガス検知タイミングは一定周期毎になっておりますので、ガスの注入タイミングがずれたり、あるいは注入したガスが薄まったりすると、警報までいたらない場合があります。
- ※ 点検ガスの注入から警報を発するまでに、時間差があります。連続して採取ガスをかけ続けると、警報器がなかなか鳴りやまない場合があります。

## <COガス点検お知らせ機能>

点検時の点検ガス注入タイミングを20秒に10回の瞬時消灯でお知らせします。



#### 4-4. 過去10日以内に警報が作動したかどうかの点検 (鳴動原因表示機能)

##### ■過去10日以内に警報動作をしている場合

通電前の過去10日以内に、通電開始時25分以降の警報履歴がある場合は、電源投入から1分経過後の「ランプ全消灯→全点灯」の後に、最後に作動した警報原因と同じ警報ランプが点灯します（他のランプは消灯）。

No.	警報器の状態		ランプ表示				
			緑(電源)	黄(CO)	赤(ガス)	赤(火災)	
1	初期鳴動防止機能中 (1分間)		点滅	消灯	消灯	消灯	
2	自動初期点検機能の表示 (各1秒、計2秒間)		消灯	消灯	消灯	消灯	
			↓	↓	↓	↓	
3	警報履歴の表示 (1秒間)	最後に作動した警報	なし	表示なし			
			火災警報	消灯	消灯	消灯	点灯
			ガス警報	消灯	消灯	点灯	消灯
			CO警報	消灯	点灯	消灯	消灯
4	自動初期点検機能の表示 (1秒間)		消灯	消灯	消灯	消灯	

## 5. お客さまへの説明について

お願い

- お客さま立会いのもとで点検が終わったら、必ずお客さまに以下の説明を行いご理解を得てください。 **❗必ず行う**

### 5-1. お客さまへのご説明内容

- 警報動作と自動初期点検結果および警報ランプと警報音、外部機器との連動の確認結果の説明。
- 取扱説明書を必ず読んでいただくことと、取扱説明書・保証書保管のお願い。
- 取扱説明書に基づく主要機能の説明と確認。
  - 火災警報の内容 [赤ランプの点灯、音声合成音の確認] と警報時にとるべき措置の説明。
  - ガス警報の内容 [赤ランプ点灯、警報音声の確認] と警報時にとるべき措置の説明。
  - CO警報の内容 [黄ランプ点灯、警報音声の確認] と警報時にとるべき措置の説明。
  - ガス・COの同時警報と警報時にとるべき措置の説明。
  - 部屋にいない場合に警報が鳴ったときにとるべき措置について。
  - 誤報が発生する場合について。
  - 警報停止スイッチの説明。
  - 日常点検方法の説明。

### 5-2. お客さまへの周知事項

- 警報器の有効期限（本体貼付のシールに表示）と保証期間。
- 警報器の移設禁止。移設依頼の連絡先。
- 警報器の分解禁止。
- 引越し時の措置。
- 故障・異常時の連絡先。

**MEMO**

**MEMO**

はじめに

警報器が作動したら

取り扱いかた

その他

施工される方へ

はじめに

警報器が作動したら

取り扱いかた

その他

施工される方へ

## お問い合わせ先一覧

### ●お電話でのお問い合わせ

- ・ご連絡は、平日の午前9時から午後7時までをお願いします。
- ・下記の電話番号にお電話いただきますと「お客さまセンター」につながります。

名古屋東支社：サービスエリア（市区町村）	電話番号	営業所等
千種区 昭和区 名東区 天白区	(052) 781-6131	星ヶ丘
北区 東区 守山区 豊山町	(052) 902-1111	北
瀬戸市 尾張旭市	(0561) 82-6105	瀬戸
日進市 東郷町 長久手市	(052) 802-1234	日進
名古屋西支社：サービスエリア（市区町村）	電話番号	営業所等
中区 中村区 中川区 西区 港区 北名古屋市	(052) 471-1151	中村
津島市 あま市 大治町 愛西市 蟹江町 飛島村	(052) 442-5732	美和
弥富市 清須市		
瑞穂区 南区 熱田区 緑区 豊明市	(052) 821-7141	笠寺
東部支社：サービスエリア（市区町村）	電話番号	営業所等
岡崎市 幸田町 蒲郡市 豊川市	(0564) 21-2231	岡崎
西尾市	(0563) 53-7400	西尾
豊田市 みよし市	(0565) 32-3070	豊田
東海市 知多市 大府市	(0562) 32-2101	東海
半田市 武豊町 阿久比町 東浦町 常滑市	(0569) 21-1526	半田
刈谷市 知立市 高浜市 碧南市 安城市	(0566) 21-1647	刈谷
北部支社：サービスエリア（市区町村）	電話番号	営業所等
岐阜市 羽島市 本巣市 瑞穂市 山県市 笠松町	(058) 272-2166	岐阜
大垣市 岐南町 北方町 大野町		
各務原市	(058) 384-0588	各務原
一宮市 岩倉市	(0586) 73-0101	一宮
稲沢市	(0587) 32-4196	稲沢
春日井市	(0568) 31-6144	春日井
小牧市 犬山市 江南市 大口町 扶桑町	(0568) 73-1551	小牧
可児市 多治見市 土岐市 御嵩町	(0574) 64-3031	東濃
西部支社：サービスエリア（市区町村）	電話番号	営業所等
四日市市 朝日町 川越町	(059) 353-9151	四日市
桑名市 木曾岬町 東員町 いなべ市	(0594) 31-0805	桑名
鈴鹿市 亀山市	(059) 368-2255	鈴鹿
津市	(059) 228-7161	津
伊勢市	(0596) 28-9101	伊勢
松阪市	(0598) 51-5518	松阪

### ●FAXでのお問い合わせ

- ・お客さまセンター FAX (052) 847-1940

※電話番号については、平成26年5月現在のものです。ご通知なしで変更する場合がありますので、ご了承ください。

## 保証書

品名：FF-W

型式：JGN1KWNA

このたびは住宅用火災(煙式)・ガス・CO警報器(家庭用)をお取り付けいただきありがとうございます。

この保証書は、東邦ガス供給区域内において、東邦ガスが供給する都市ガス用として警報器をご使用になる場合、本保証書の記載内容にて、無料点検または無料取り替えを約束するものです。

— 記 —

見本

1. 保証期間は、お取り付け日から5年間とし、警報器本体を対象とします。警報器本体以外に生じた損害は、本保証書に定められた保証の対象ではありません。
2. 保証期間中万一故障した場合は、本保証書をご提示の上お求めの販売店、または最寄りの東邦ガス営業所にお申し出ください。
3. 取扱説明書に基づく正常な使用状態で誤作動等の異常が認められた場合は、お申し出に基づき無料にて出張の上、点検いたします。
4. 取扱説明書に基づく正常な使用状態で、製造上の責任による故障の場合は無料にて出張の上、取り替えいたします。
5. 保証期間内でも本書内<保証の適用除外>に記載してある事項の場合は、有料点検または有料取り替えとなります。
6. 無料取り替えなどアフターサービス等についてご不明の場合は、お求めの販売店、または最寄りの東邦ガス営業所にお問い合わせください。

お取付日	年	月	日
------	---	---	---

ご使用者	ご芳名	_____
	ご住所 〒 _____	_____
	電話 ( _____ ) _____	_____

〈保証の適用除外〉

保証期間内でも次の場合、点検または取り替えは有料となります。

1. 点検の結果、警報器に異常が認められない場合。
2. 取扱説明書等の記載事項によらないで使用した場合の故障または損傷。
3. お買い上げ後、器具を調整・分解・改造された場合の故障または損傷。
4. お客様が取り付けけた場合であって、取り付け位置が浴室・屋外・高温多湿等著しく不適当な場所、および取り付け基準に定める位置以外の場所で使用した場合。
5. お買い上げ後、取り付け位置の移動、落下等による故障または損傷。
6. 建築躯体の変形等器具本体以外に起因する当該器具の不具合、筐体の色あせ等の経年変化、ご使用に伴う磨耗等により生じる外観上の現象。
7. 強い腐食性の空気環境に起因する不具合。
8. 犬、猫、ねずみ、くも、昆虫等の動物および植物に起因する故障または損傷。
9. 火災や落雷、地震、噴火、洪水、津波等の天災地異、または戦争、暴動等の破壊行為による故障または損傷。
10. 指定規格以外のガス・電気を使用したことによる故障または損傷。
11. 水や煮こぼれ等の液体による故障または損傷。
12. 車両、船舶に備品として搭載された場合に生じた故障および損傷。
13. 本保証書のご提示がない場合。
14. 本保証書にお取り付け日、販売店名の記入がない場合。

〈お客様へ〉

1. お取り付け後5年を過ぎたものは、新しい警報器とお取り替えください。
2. この保証書をお受け取りになるときに、お取り付け年月日、および販売店名が記入してあることを確認してください。
3. 本保証書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。
4. この保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。
5. 保証期間内のアフターサービス（無料点検等）および安全点検活動のために、お客様の記載内容を利用させていただく場合がありますので、ご了承願います。

販売店		扱者

保証履行者  
(発売元)

**東邦ガス株式会社**

〒456-8511 名古屋市熱田区桜田町19-18

および

保証責任者  
(製造元)

**富士電機株式会社**

〒141-0032 東京都品川区大崎一丁目11番2号  
(ゲートシティ大崎イーストタワー)

## 取付フックを使った取付方法（石膏ボード壁専用）

■本取扱説明書は、取付フックを使用して石膏ボード壁に警報器を取り付ける手順について説明しています。

■取付フックを使用して警報器を取り付ける方は、この取扱説明書を読んで、内容を理解した上で取り扱ってください。

### 1. 付属品の確認

取扱説明書（p30）記載の付属品の他に、右の付属品があることを確認してください。

・取付フック：1個  
（ピン3本付）

### 2. 取り付け壁の確認

警報器取り付けの壁面の材質が石膏ボードであることを確認し、石膏ボード壁以外の壁面には取り付けないでください。

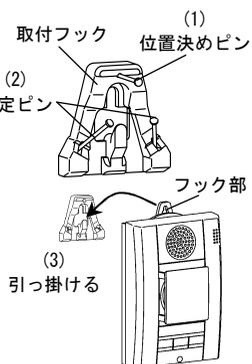


### 3. 警報器の取り付け

(1) 取付フックを壁面に押し当て、位置決めピンを垂直に打ち込んでください。

(2) 取付フックを垂直位置にした状態で、取付フックの固定ピン（左右2箇所）を斜めに打ち込んでください。

(3) 警報器本体のフック部を、取付フックに引っ掛けてください。



## ⚠ 注意

- ピンを指に刺さないように、取り扱いには充分注意してください。
- 取付強度を保持するため、ピンは根元まで確実に打ち込んでください。
- 万一ピンがゆるんだ場合は、取付位置をずらしてピンを打ち込み直してください。
- 警報器の電源コードを引っ張ったりして、取付フックに過大な力が加わらないようにしてください。